

06/9期決算説明会資料

06年11月20日

 **富士製薬工業株式会社**

FujiPharma

＝経営理念＝ 富士製薬工業の土台となる基本的な指針、存在意義を示すもの

■ 医薬品を通じて社会に貢献する

人に尽くすことがわたしたちの使命、目的、幸せです。

■ 企業の成長はそこに働く人々の成長に正比例する

企業活動を通じて人材を育成することを大切にしています。

＝ミッション＝ 理念に基づくわたしたちの約束、大切に考える考え・想い、目指す姿を示すもの

○人々の痛みや障害の改善、克服に役立つ医薬品の開発、製造、販売を通して社会に貢献します。

○自社の強み、勝てる戦いに集中し、独自の企業力の充実、発展、継続に努めます。

○お客様の立場を貫き、お客様と共に新たな価値を創る、お客様と相乗的に発展します。

○フェアでオープンな風土、学習と人間的成長、成長と発展の機会、社員満足を尊重します。

＝行動指針＝ わたしたちが心がけること、優先すること、実践することを示すもの

◇お客様の要望を十分に理解するだけでなく、お客様にとってのお客様・患者様の要望も視野に入れて、お客様と共に新しい価値を考えます。

◇会社の仕組みの簡素化・効率化を推進、会社活動を行う目標、方法、手順を共有し、やるべきことだけに集中します。

◇ネットワーク形成を通じた外部資源の内部資源化、自己資源・パワーの最適な集中投入により、自己の強みの充実に努めます。

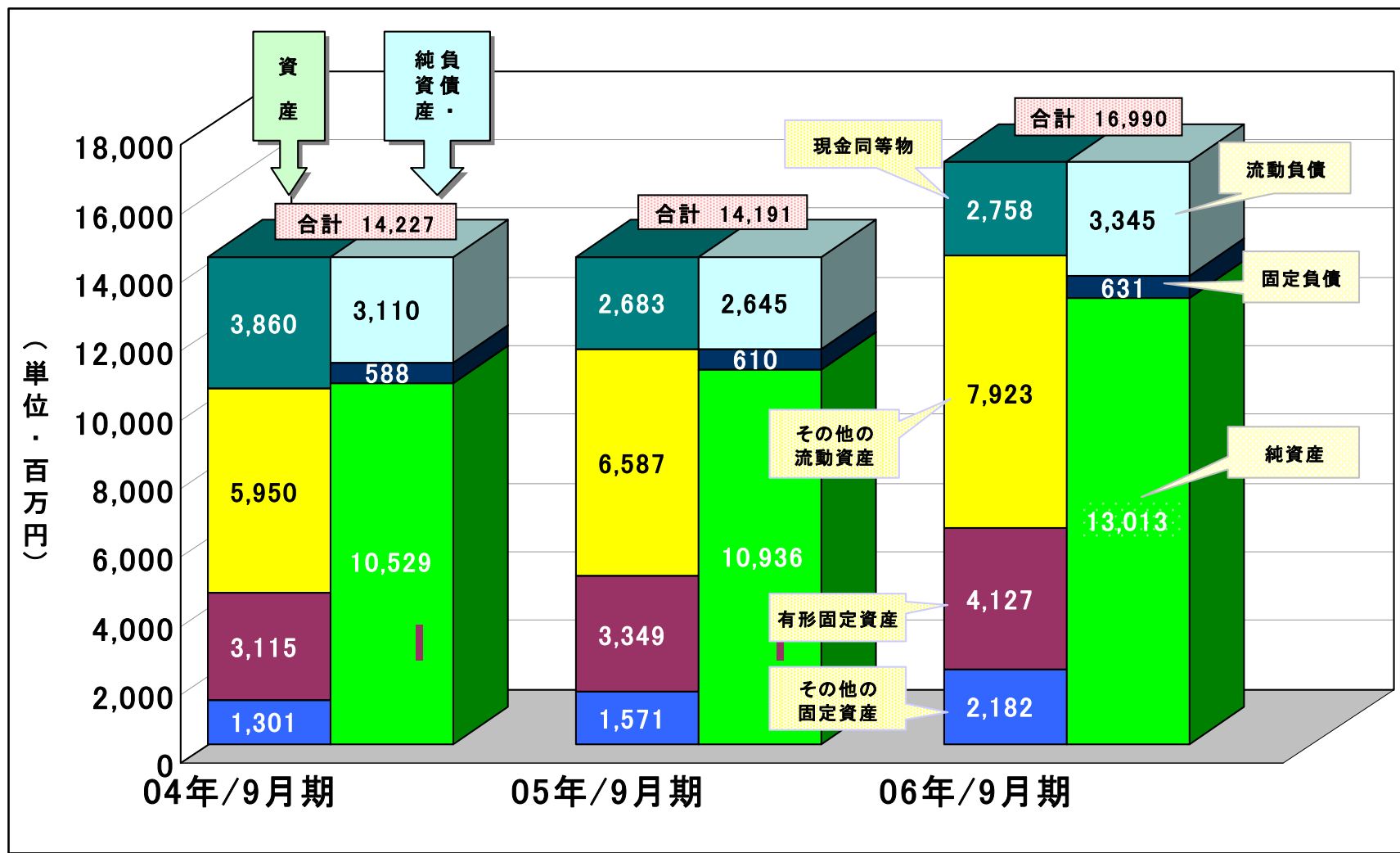
◇会社活動、自主的な取組みを通して、無くてはならない優位性、見事な独自性、高い専門性の充実、人間的成長をはかります。

◇人の生命に関与する誇り、人に尽くす・人に尽くせる喜び・幸せ、人へのありがたい・感謝の気持ちを大切にします。

I. 2006年9月期業績

- ① 貸借対照表構成図
 - ② 損益計算書
 - ③ 収益構造と売上構成
 - ④ 薬効分類別売上高
 - ⑤ 主要製品売上高
 - ⑥ キャッシュ・フロー計算書
 - ⑦ 利益率、その他の経営指標
 - ⑧ 1株当り指標と配当性向
 - ⑨ 設備投資額、減価償却費、研究開発費
 - ⑩ 2007年9月期業績予想
- ＜参考＞薬価改定推移と過去業績

I - ① 貸借対照表構成図

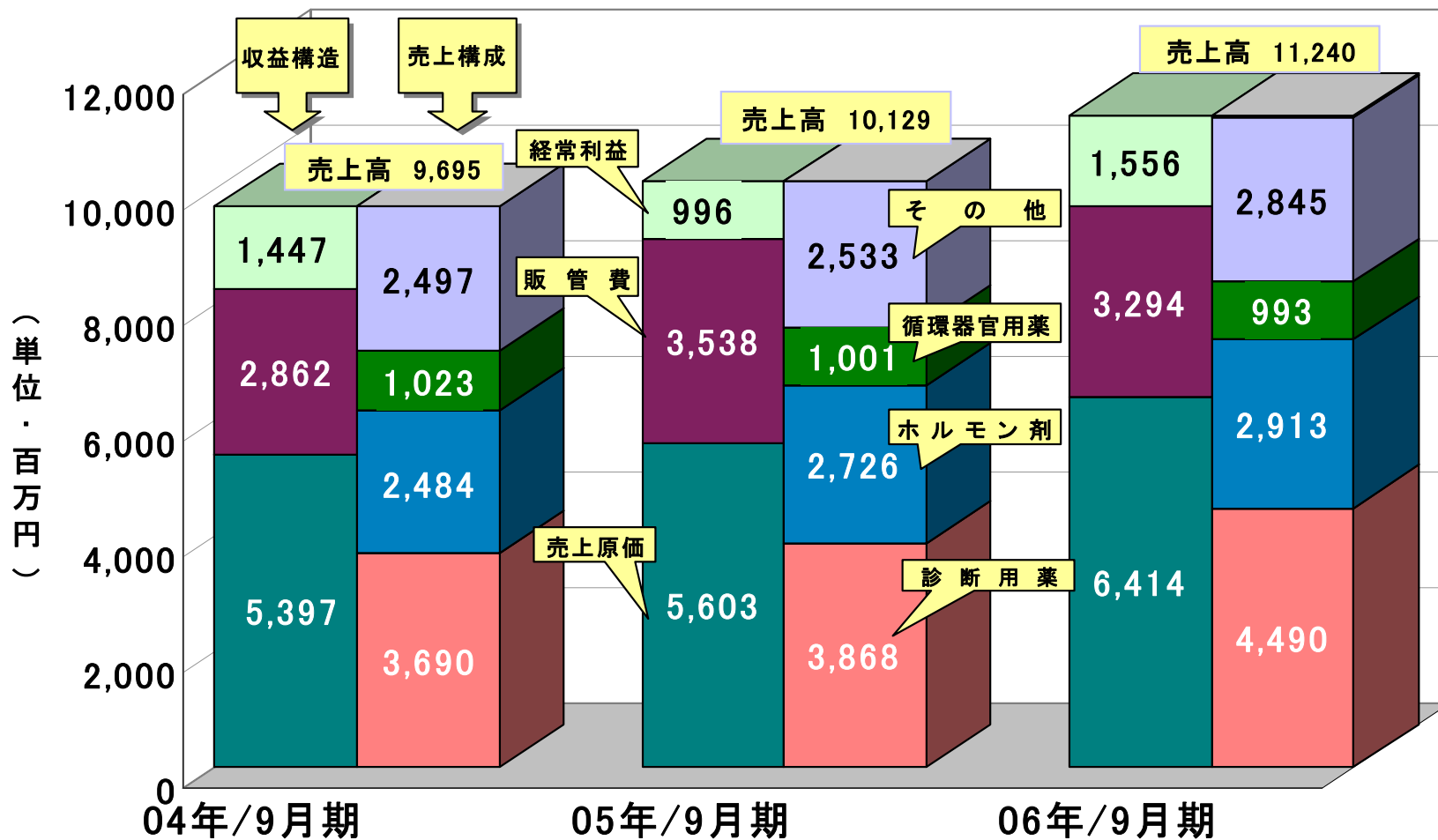


I - ② 損益計算書

(単位:百万円)

科目	04/9期	構成比	05/9期	構成比	06/9期	構成比	前期比増減	
売上高	9,694	100.0%	10,128	100.0%	11,240	100.0%	1,112	11.0%
売上原価	5,396	55.7%	5,602	55.3%	6,414	57.1%	812	14.3%
売上総利益	4,298	44.3%	4,525	44.7%	4,826	42.9%	301	6.6%
販売費及び一般管理費	2,862	29.5%	3,537	34.9%	3,293	29.3%	▲ 244	▲6.9%
営業利益	1,435	14.8%	987	9.8%	1,532	13.6%	545	55.1%
営業外収益	18	0.2%	20	0.2%	35	0.3%	15	73.0%
営業外費用	6	0.1%	12	0.2%	11	0.1%	▲ 1	▲2.0%
経常利益	1,447	14.9%	996	9.8%	1,556	13.8%	560	56.2%
特別利益	4	0.1%	—	—	—	—	—	—
特別損失	40	0.4%	94	0.9%	101	0.9%	7	7.7%
税引前当期純利益	1,410	14.6%	902	8.9%	1,454	12.9%	552	61.3%
税金等	556	5.8%	324	3.2%	538	4.8%	214	65.8%
当期純利益	853	8.8%	577	5.7%	915	8.1%	338	58.7%

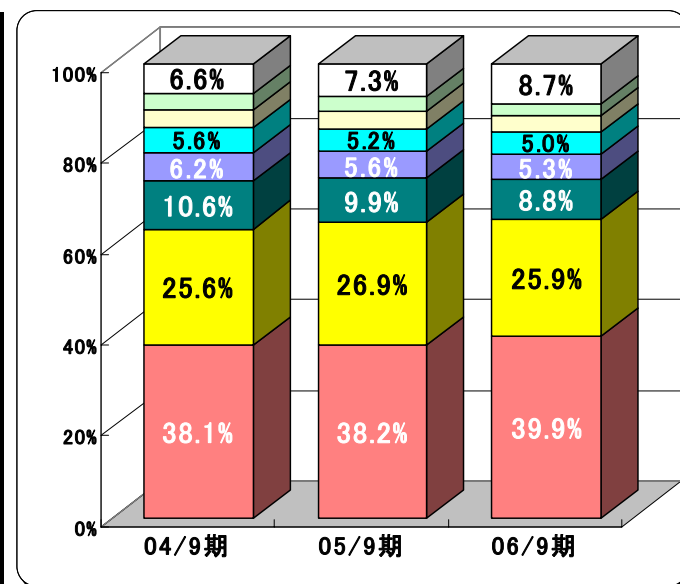
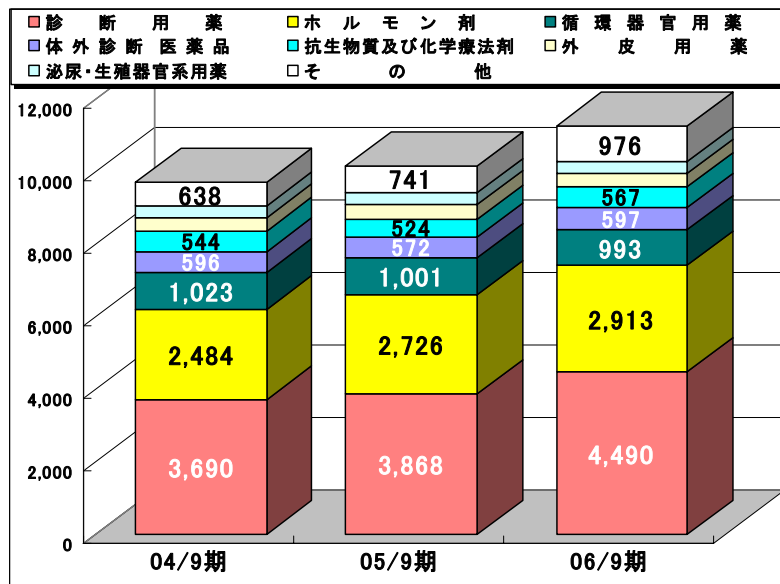
I - ③ 収益構造と売上構成



I - ④ 薬効分類別売上高

(単位: 百万円)

区 分	04年9月期		05年9月期		06年9月期			
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率	増減(額)	増減(%)
診 断 用 薬	3,690	38.1%	3,868	38.2%	4,490	39.9%	622	16.1%
ホ ル モ ン 剤	2,484	25.6%	2,726	26.9%	2,913	25.9%	187	6.9%
循 環 器 官 用 薬	1,023	10.6%	1,001	9.9%	993	8.8%	▲ 8	▲0.8%
体 外 診 断 医 薬 品	596	6.2%	572	5.6%	597	5.3%	25	4.4%
抗 生 物 質 及 び 化 学 療 法 剤	544	5.6%	524	5.2%	567	5.0%	43	8.2%
外 皮 用 薬	392	4.0%	387	3.8%	396	3.5%	9	2.2%
泌 尿 ・ 生 殖 器 官 系 用 薬	328	3.4%	309	3.1%	308	2.7%	▲ 1	▲0.3%
そ の 他	638	6.6%	741	7.3%	976	8.7%	235	31.7%
合 計	9,695	100%	10,128	100%	11,240	100%	1,112	11.0%



I - ⑤ 主要製品売上高

(単位：百万円)

順位	薬効分類	製品名	売上高			
			04/9期	05/9期	06/9期	前期比
1	診断用薬	オイパロミン	2,826	2,939	3,342	13.7%
2	循環器官用薬	アリプロスト	798	800	795	▲0.6%
3	診断用薬	イオパーク	517	585	790	34.9%
4	ホルモン剤	HMGフジセイヤク	455	469	562	19.9%
5	診断用薬	注射用グルカゴンFS	346	342	356	4.2%
6	ホルモン剤	ブセレキュア	244	249	262	5.4%
7	ホルモン剤	注射用ソル・メルコート	162	199	250	25.7%
8	ホルモン剤	フォルルモンP注	206	250	241	▲3.7%
9	ホルモン剤	デキサート注射液	137	164	221	34.7%
10	ホルモン剤	ハイコート注	217	213	213	▲0.2%
上位10位までの合計(*1)			6,024	6,252	7,037	12.6%
全売上に占める比率			62.1%	61.7%	62.6%	

(*1) 04/9期及び05/9期は当該期の上位10位の合計金額

I - ⑥ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	04年9月期	05年9月期	06年9月期	前期比増減
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】税引前当期純利益	1,410	902	1,454	552
減価償却費	340	429	575	146
売上債権の増加額	▲ 237	▲ 150	▲ 892	▲ 742
棚卸資産の増加額	▲ 67	▲ 486	▲ 308	178
仕入債務の増加額	137	58	362	304
営業活動によるキャッシュ・フロー	854	338	767	429
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】有価証券の取得等による支出	▲ 30	—	▲ 499	▲ 499
有形固定資産の取得等による支出	▲ 640	▲ 1,053	▲ 1,333	▲ 280
無形固定資産の取得等による支出	▲ 18	▲ 180	▲ 485	▲ 305
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 787	▲ 1,336	▲ 2,364	▲ 1,028
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
【抜粋】自己株式の売却による収入	—	—	1,344	1,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 171	▲ 178	1,172	1,350
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0	—	0
V 現金及び現金同等物の減少額	▲ 101	▲ 1,176	▲ 425	751
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,961	3,860	2,683	▲ 1,177
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,860	2,683	2,258	▲ 425

I - ⑦ 利益率、その他の経営指標

決算期	04/9期	05/9期	06/9期
売上高経常利益率	14.9%	9.8%	13.8%
： 当期利益率	8.8%	5.7%	8.1%
総資本経常利益率	10.6%	7.0%	10.0%
： 当期利益率	6.3%	4.1%	5.9%
株主資本経常利益率	14.2%	9.3%	13.0%
： 当期利益率	8.4%	5.4%	7.6%

(注) 総資本、株主資本は、前、当期末平均値を使用

(単位： 回)

決算期	04/9期	05/9期	06/9期
総資本回転率	0.71	0.71	0.72
株主資本回転率	0.95	0.94	0.94
有形固定資産回転率	3.52	3.13	3.01
売上債権回転率	2.57	2.55	2.51
たな卸資産回転率	5.70	5.12	4.73

(注) 貸借対照表項目は前・当期末平均値を使用

決算期	04/9期	05/9期	06/9期
流動比率	315.4%	350.6%	319.3%
固定比率	41.9%	45.0%	48.5%

I - ⑧ 1株当たり指標と配当性向

1株当たり指標

(単位: 円)

決算期	04/9期	05/9期	06/9期
1株当たり当期純利益	71.12	47.33	73.78
1株当たり配当金	14.00	14.00	14.00
1株当たり純資産	886.42	920.32	1,011.12

(注) 1. 1株当たり当期純利益の株式数は、期中平均株式数による。

2. 1株当たり純資産の株式数は、期末株式数による。

3. 当期の期中平均株式数及び期末株式数は、自己株式数を控除した株式数。

配当性向

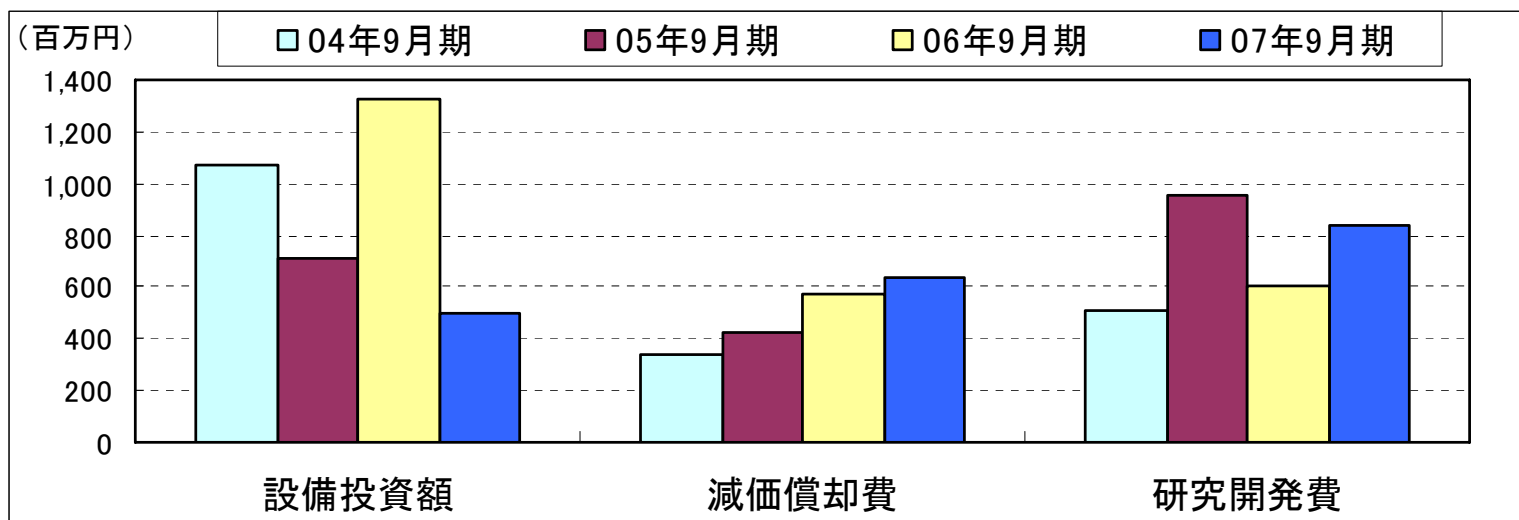
決算期	04/9期	05/9期	06/9期
配当性向	19.7%	29.6%	19.0%

(注) 配当性向は1株当たり配当金を1株当たり当期純利益で除して計算

I - ⑨ 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	04/9期		05/9期		06/9期		07/9期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	予定	前期比
設備投資額	1,069	86.3%	714	▲33.3%	1,326	85.8%	500	▲62.3%
減価償却費	340	0.3%	429	26.0%	575	34.0%	640	11.2%
研究開発費	508	44.2%	955	87.7%	601	▲37.0%	842	39.9%

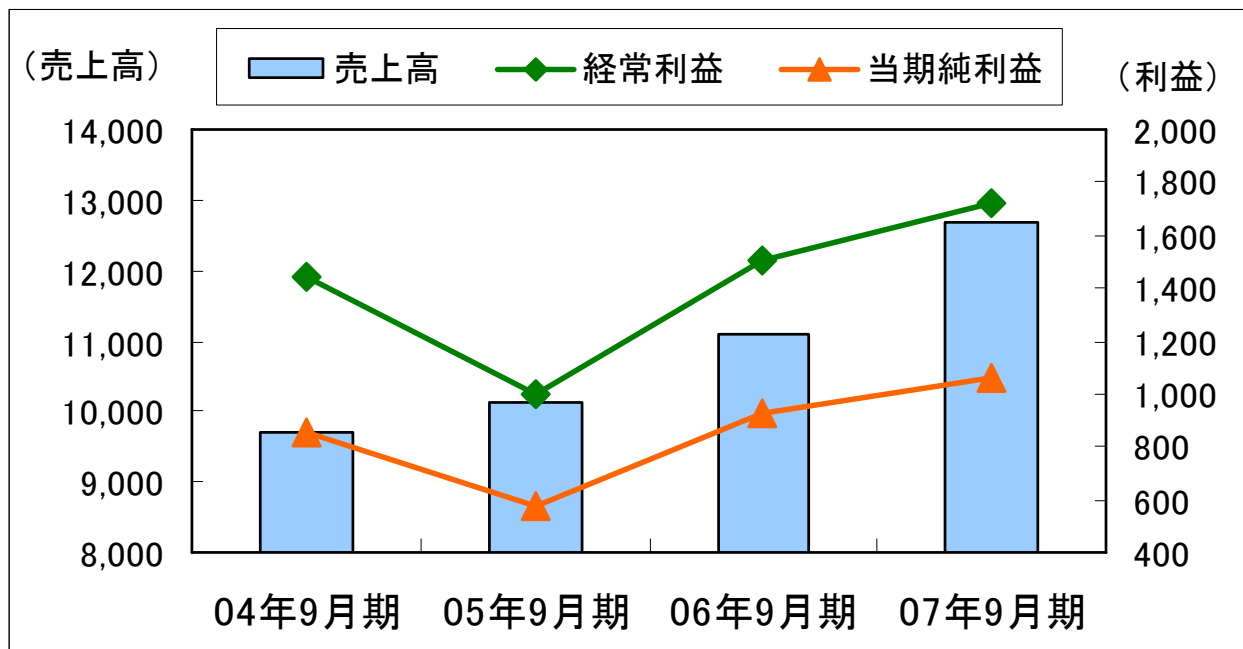


I - ⑩ 2007年9月期業績予想

2007年9月期（06年10月1日～06年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	5,950	700	440	7 00	—	—
通期	12,680	1,720	1,060	—	7 00	14 00

参考：1株当たり予想当期純利益（通期） 82円36銭



<参考> 薬価改定推移と過去業績

期	薬価引き下げ率		当社の業績(単位:百万円)					
	業界平均	当社	売上高	前年比増減	経常利益	匿名組合投資利益	修正経常利益(*1)	前年比増減
00/9期	▲7.0%	▲11.0%	5,855	5.0%	852	150	702	▲25.8%
01/9期	—	—	6,152	5.1%	1,022	159	863	23.0%
02/9期	▲6.3%	▲15.0%	6,853	11.4%	1,077	245	832	▲3.6%
03/9期	—	—	8,676	26.6%	1,455	212	1,243	49.4%
04/9期	▲4.2%	▲7.2%	9,694	11.7%	1,447	—	—	16.4%
05/9期	—	—	10,128	4.5%	996	—	—	▲31.2%
06/9期	▲6.7%	▲7.0%	11,240	11.0%	1,556	—	—	56.2%

(*1) 修正経常利益は、匿名組合投資損益を除いたもの

Ⅱ. 環境変化と方向性

- ① 環境変化
- ② 経営課題
- ③ 基本方針
- ④ 基本戦略
- ⑤ 数値計画

Ⅱ-① 環境変化

▼ジェネリック医薬品市場を取り巻く環境変化

●医療制度改革、05年試案→大綱→06年法案成立

⇒DPC対象病院：06年360+準備375、→1200

●05年～薬事制度の改善、会社法制再構築の仕上げ

⇒事業再構築と重点化、産業全体としての合理化

●GE薬過当競争体質+02年～GE薬使用促進策

⇒GE薬市場06年12%増加⇒収益格差拡大

事業機会増大⇔収益格差拡大

Ⅱ-② 経営課題

▼世界的にGE薬企業の共通課題

- 売上高の増加→収益の増加へのリンク
- GE薬の最初の市場投入・獲得（GE薬勝組条件）、次にコスト競争力の維持

▼+当社の課題

- 効率的、重点的、積極的な事業投資
- 競争優位な生存領域の確保、拡大
- 戦略的な成長路線への転換
- 独自の中長期パイプラインの組立て
- 資産収益率の引き上げ

Ⅱ-③ 中期<-2010年>基本方針

I. 既存コア事業の拡大

「生存領域で抜きん出る、2010年営業収益倍増

- 得意領域に経営資源を集中投入
- 積極的なアライアンス、戦略品の獲得
- 戦略品を中心に最適な事業運営体制づくり

Ⅱ. 新規事業機会の具体化

「2010年から打って出る、新たな成長基盤づくり」

- 新経営体制づくり、経営企画、管理機能強化
- 技術を軸にした2010-事業計画の組立て
- 新たな独自中長期開発パイプラインの充実

Ⅱ-④ 中期<-2010年>基本戦略

中期的な課題	基本戦略/マスタープラン
効率的、重点的な事業投資	◇女性ホルモン剤 新薬「エンドベル錠」の製造販売ライセンス取得 長期収載品目承継 ホルモン剤/ハザード対応工場新設
	◇注射剤 DDS技術導入 プレフィルドシリンジ新製造ライン導入 急性期入院医療用GE薬品揃え
競争優位な生存領域の拡大	◇産婦人科←女性ホルモン剤 GE薬+長期収載品目+「エンドベル錠」(新医療用配合剤)の相互補完モデル構築
	◇急性期入院←注射剤 MRI用造影剤、抗がん剤、制吐剤、 抗菌剤等のGE薬注射剤市場獲得
総資産収益率の改善	2010年ROA14%(2006年10%)

Ⅱ-⑤ 数値計画

	06/9期実績	07/9期計画	10/9期計画	
売上高	11,240	12,680	17,600	百万円
経常利益	1,556	1,720	2,840	百万円
EPS	73.78	82.36	137	円
ROA	10%	10%	14%	

注)総資産は前、当期末平均値

本日は、お忙しい中、ご来場頂き、誠にありがとうございました。



富士製薬工業株式会社

＜お問い合わせ先＞

管理部マネージャー 上出 豊幸

東京都千代田区紀尾井町3番19号

TEL : 03-3556-3344

FAX : 03-3556-4455

Email: toyoyuki_kamide@fujipharma.jp

URL : <http://www.fujipharma.jp>